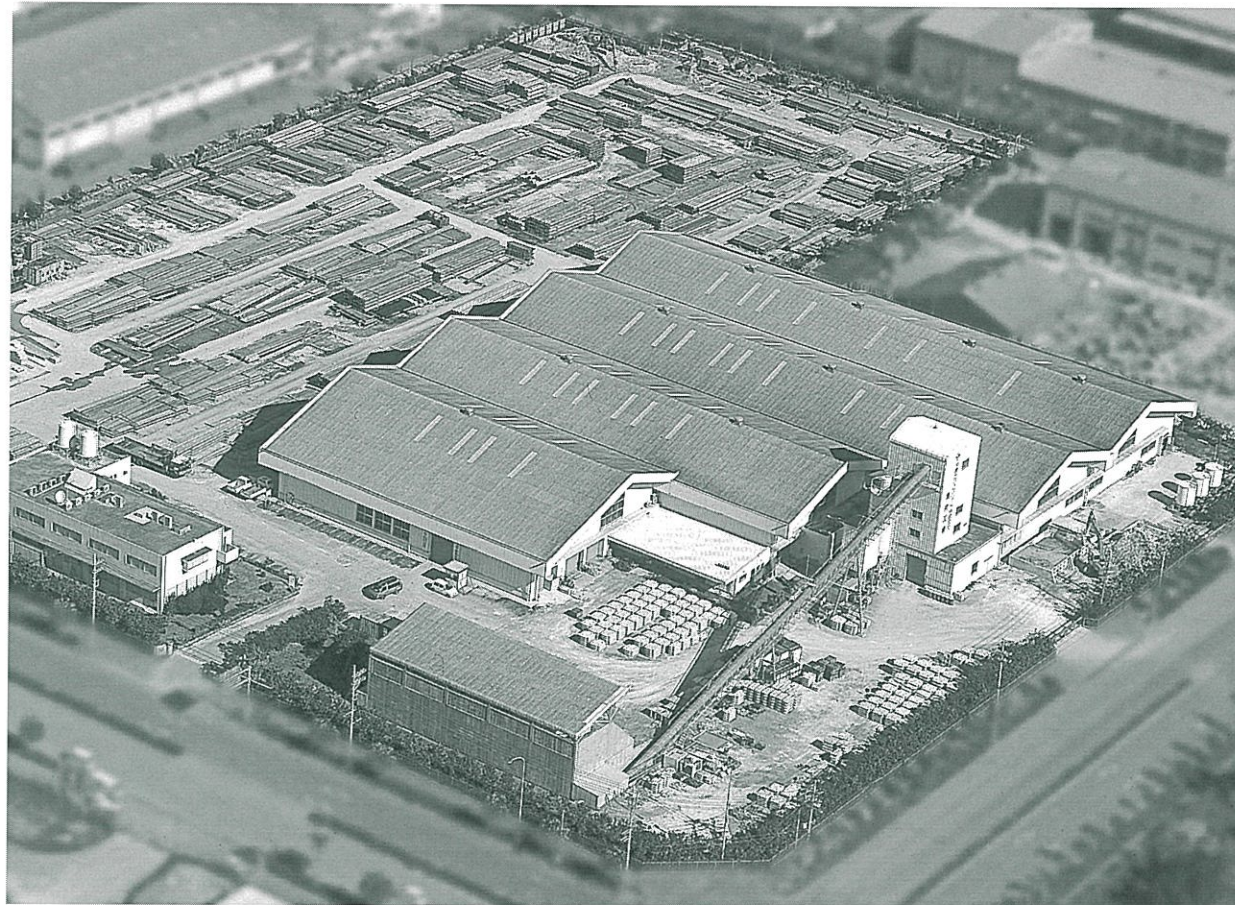


オキポール — 総合カタログ —

JIS A 5373 プレキャストプレストレストコンクリート製品

附属書A（規定）ポール類及び推奨仕様プレストレストコンクリートポール



ご 挨拶



平素は格別のお引立てを賜り誠に有り難うございます。

弊社は(旧)沖縄ヒューム管工業所として昭和27年に郷土復興の一翼を担うべく、県内初の遠心力応用コンクリート二次製品メーカーとして創立されました。

爾来、ポール、パイル、プレキャスト部材を中心とし、電力、通信、建築、土木等の分野での製品展開により、郷土沖縄の都市空間創造のために尽力して参りました。

平成4年には、多様化するお客様のニーズに迅速に対応できる体制を確立すべく
中城湾新港地区(沖縄市海邦町)に工場を新設移転いたしました。

現在ではPHCパイル、PHC大径パイル、CPRCパイル、PCポール、C.C.BOX、テールアルメ工法他、総合コンクリート製品メーカーとしてあらゆる分野での製品のご提供又、技術のご提供ができるものと自負しております。

弊社は創立以来、新製品技術の開発発展に全力を傾注して参りました。復帰前には工業開発への多大な努力が認められオグレスビー工業功労賞を受賞し昭和47年の日本復帰に際しては県内業界初のJIS表示許可を受けることができました。

又、平成12年10月には上記分野に於いて九州沖縄の地場企業として初のISO9001を取得することができましたことは、常にお客様に最新最高の技術、製品と品質保証のご提供をモットーに歩んで参りました弊社の誇りとするところであります。

弊社は、今後とも多様化し変化する社会的技術的ニーズに、積極的に対応する事が最大の社会的使命であると自覚し、社員一丸となって全力を尽くして参ります。

一層のご指導ご鞭撻、ご愛顧のほどを衷心よりお願い申し上げます。

代表取締役 社長 仲本幸文



TC 09 07 004
日本工業規格適合性認証書
JIS A 5373

プレキャストプレストレストコンクリート製品

オキポールの特徴

顧客ニーズに的確にお応えするオキポール

オキポールは、高強度コンクリートと、高張力鋼線を使用し、遠心力を応用して、成形した極めてすぐれた特性をもったプレテンション方式による遠心カプレストレストコンクリートポールです。

オキポールは、建柱後の保守も不要で半永久的な寿命を保ち、価格も木柱や鋼管柱に比べて、はるかに低廉であります。

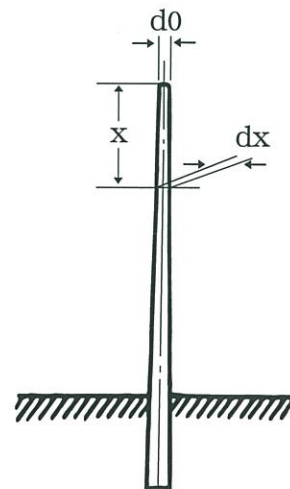
さらに弊社は、顧客ニーズに的確にお応えするよう、新技術、新製品の開発、製造設備の近代化を推進し、沖縄電力株式会社、西日本電信電話株式会社をはじめ、各方面から御採用を戴き、配電線路用、通信線路用のほか防球ネット用並びに照明用など従来のポールのほか、カラーポール、防災無線用ポール、など広範な需要に対処しています。

オキポール外径早見表 (テーパー1/75)

末口より の長さ(m)	増加数 (mm)	外 径 (mm)			
		※170	※190	※220	※240
1	13.3	183.3	203.3	233.3	253.3
2	26.7	196.7	216.7	246.7	266.6
3	40.0	210.0	230.0	260.0	280.0
4	53.3	223.3	243.3	273.3	293.3
5	66.7	236.7	256.7	286.7	306.6
6	80.0	250.0	270.0	300.0	320.0
7	93.3	263.3	283.3	313.3	333.3
8	106.7	276.7	296.7	326.7	346.6
9	120.0	—	310.0	340.0	360.0
10	133.3	—	323.3	353.3	373.3
11	146.7	—	336.7	366.7	386.6
12	160.0	—	350.0	380.0	400.0
13	173.3	—	363.3	393.3	413.3
14	186.7	—	376.7	406.7	426.6
15	200.0	—	390.0	420.0	440.0
16	213.3	—	403.3	433.3	453.3
17	226.7	—	416.7	446.7	—

※は末口径を示す。
実際には小数点1位以下を4捨5入した整数を用いる。

注 テーパー = $\frac{1}{75}$
計 算 式
 $dx = d0 + \frac{1}{75} X$
dx : 外径
d0 : 末口径
x : 末口からの距離



電力仕様規格寸法表

呼び名(製品名)※1	長さ(m)	末口径(mm)	元口径(mm)	ひび割れ 試験荷重(kN)	根入れ長(m)	足場受口数(個)	参考質量(kg)※2
7-17-2.5	7	170	263	2.5	1.2	9	390
8-17-2.5	8	170	277	2.5	1.4	11	460
9-19-3.5	9	190	310	3.5	1.5	13	590
10-19-3.5	10	190	323	3.5	1.7	16	670
11-19-5.0	11	190	337	5.0	1.9	19	800
12-19-5.0	12	190	350	5.0	2.0	23	900
13-19-5.0	13	190	363	5.0	2.2	25	1,010
8-19-7.0	8	190	297	7.0	1.4	9	640
10-19-7.0	10	190	323	7.0	1.7	16	860
13-19-7.0	13	190	363	7.0	2.2	25	1,220
14-19-7.0	14	190	377	7.0	2.4	29	1,350
15-19-7.0	15	190	390	7.0	2.5	31	1,490
16-19-7.0	16	190	403	7.0	2.5	33	1,630
17-19-7.0	17	190	417	7.0	2.8	34	1,790
13-19-10	13	190	363	10	2.6	24	1,430
14-19-10	14	190	377	10	2.8	28	1,590
15-19-10	15	190	390	10	2.8	30	1,750
16-19-10	16	190	403	10	2.8	32	1,930
17-19-10	17	190	417	10	2.8	34	2,110
15-22-15	15	220	420	15	3.0	30	2,310
16-22-15	16	220	433	15	3.0	32	2,530
17-22-15	17	220	447	15	3.0	34	2,750
14-24-20	14	240	427	20	3.0	19	2,170
15-24-20	15	240	440	20	3.0	22	2,390
16-24-20	16	240	453	20	3.0	24	2,600

通信用共架用柱規格寸法表

呼び名(製品名)※1	長さ(m)	末口径(mm)	元口径(mm)	ひび割れ 試験荷重(kN)	根入れ長(m)	足場受口数(個)	参考質量(kg)※2
11-19-3	11	190	337	3.5	1.83	22	760
13-19-3	13	190	363	3.5	2.17	28	950
13-19-5	13	190	363	5.0	2.17	28	1,010
15-19-5	15	190	390	5.0	2.50	34	1,230
13-19-7	13	190	363	7.0	2.17	28	1,220
15-19-7	15	190	390	7.0	2.50	34	1,490
17-19-7	17	190	417	7.0	2.80	38	1,790
14-19-10	14	190	377	10	2.70	30	1,590
16-19-10	16	190	403	10	2.80	35	1,930

通信用高荷重柱規格寸法表

呼び名(製品名)※1	長さ(m)	末口径(mm)	元口径(mm)	ひび割れ 試験荷重(kN)	根入れ長(m)	足場受口数(個)	参考質量(kg)※2
14-22-15	14	220	407	15	2.90	30	2,090
15-22-15	15	220	420	15	3.00	33	2,310
16-22-15	16	220	433	15	3.00	35	2,530
17-22-15	17	220	447	15	3.00	37	2,750

※1 呼び名の数字は左から、長さ・末口径・ひび割れ試験荷重を表しています。

※2 本カタログに記載されている製品質量は、設計計算値です。実質量は20%~30%程度加算したものを見込んで下さい。

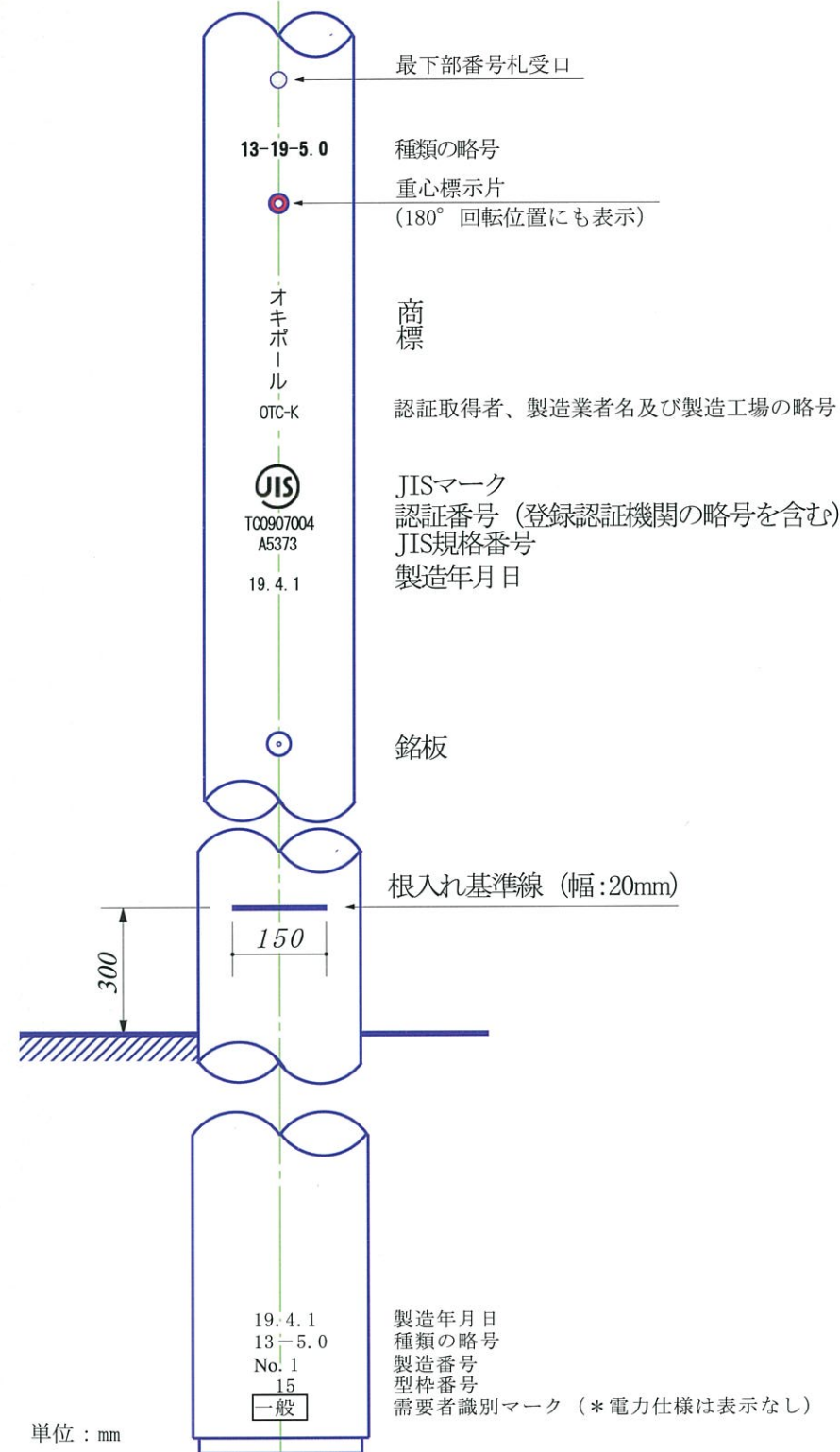
一般ポール寸法表

一般ポールは配電線用、共架用、通信線用以外にも、照明用、防球ネット用、アンテナ用等の様々な用途にご利用いただける、幅広いバリエーションを取りそろえています。

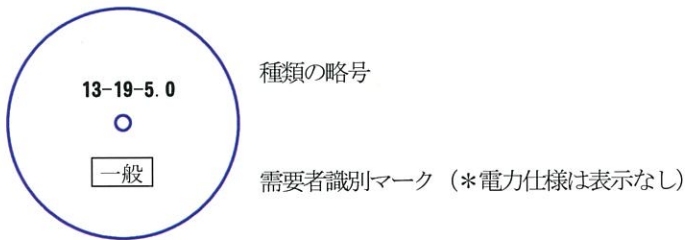
呼び名(製品名) ^{※1}	長さ(m)	末口径(mm)	元口径(mm)	ひび割れ試験荷重(kN)	根入れ長(m) ^{※2}	足場受口数(個)	参考質量(kg) ^{※4}
7-17-2.5	7	170	263	2.5	1.2	9	390
8-17-2.5	8	170	277	2.5	1.4	11	460
7-19-3.5	7	190	283	3.5	1.2	7	430
8-19-3.5	8	190	297	3.5	1.4	9	510
9-19-3.5	9	190	310	3.5	1.5	13	590
10-19-3.5	10	190	323	3.5	1.7	16	670
11-19-3.5	11	190	337	3.5	1.9	19	760
12-19-3.5	12	190	350	3.5	2.0	23	860
13-19-3.5	13	190	363	3.5	2.2	25	950
7-19-5.0	7	190	283	5.0	1.2	7	450
8-19-5.0	8	190	297	5.0	1.4	9	530
9-19-5.0	9	190	310	5.0	1.5	13	620
10-19-5.0	10	190	323	5.0	1.7	16	710
11-19-5.0	11	190	337	5.0	1.9	19	800
12-19-5.0	12	190	350	5.0	2.0	23	900
13-19-5.0	13	190	363	5.0	2.2	25	1,010
14-19-5.0	14	190	377	5.0	2.4	29	1,110
15-19-5.0	15	190	390	5.0	2.5	31	1,230
16-19-5.0	16	190	403	5.0	2.5	33	1,340
17-19-5.0	17	190	417	5.0	2.8	34	1,460
7-19-7.0	7	190	283	7.0	1.2	7	540
8-19-7.0	8	190	297	7.0	1.4	9	640
9-19-7.0	9	190	310	7.0	1.5	13	740
10-19-7.0	10	190	323	7.0	1.7	16	860
11-19-7.0	11	190	337	7.0	1.9	19	970
12-19-7.0	12	190	350	7.0	2.0	23	1,090
13-19-7.0	13	190	363	7.0	2.2	25	1,220
14-19-7.0	14	190	377	7.0	2.4	29	1,350
15-19-7.0	15	190	390	7.0	2.5	31	1,490
16-19-7.0	16	190	403	7.0	2.5	33	1,630
17-19-7.0	17	190	417	7.0	2.8	34	1,790
10-19-10	10	190	323	10	2.4	14	1,000
11-19-10	11	190	337	10	2.4	18	1,140
12-19-10	12	190	350	10	2.6	21	1,280
13-19-10	13	190	363	10	2.6	24	1,430
14-19-10	14	190	377	10	2.8	28	1,590
15-19-10	15	190	390	10	2.8	30	1,750
16-19-10	16	190	403	10	2.8	32	1,930
17-19-10	17	190	417	10	2.8	34	2,110
13-22-15	13	220	393	15	2.2	27	1,880
14-22-15	14	220	407	15	3.0	27	2,090
15-22-15	15	220	420	15	3.0	30	2,310
16-22-15	16	220	433	15	3.0	32	2,530
17-22-15	17	220	447	15	3.0	34	2,750
14-24-20	14	240	427	20	3.0	19	2,170
15-24-20	15	240	440	20	3.0	22	2,390
16-24-20	16	240	453	20	3.0	24	2,600

※1 呼び名の数字は左から、長さー末口径ーひび割れ試験荷重を表しています。
※2 根入れ長は「電気設備技術基準」に準拠した長さです。但し、その根入れ長が個々の検討によって基礎の安全性が確認されている場合、この限りではありません。
※3 部品取付図(姿図)については弊社へお問い合わせ下さい。
※4 本カタログに記載されている製品質量は、設計計算値です。実質量は20%～30%程度加算したものを見込んで下さい。

オキポールの表示例（電力仕様／一般）

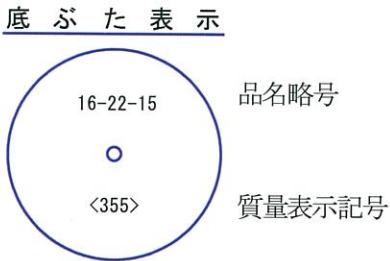
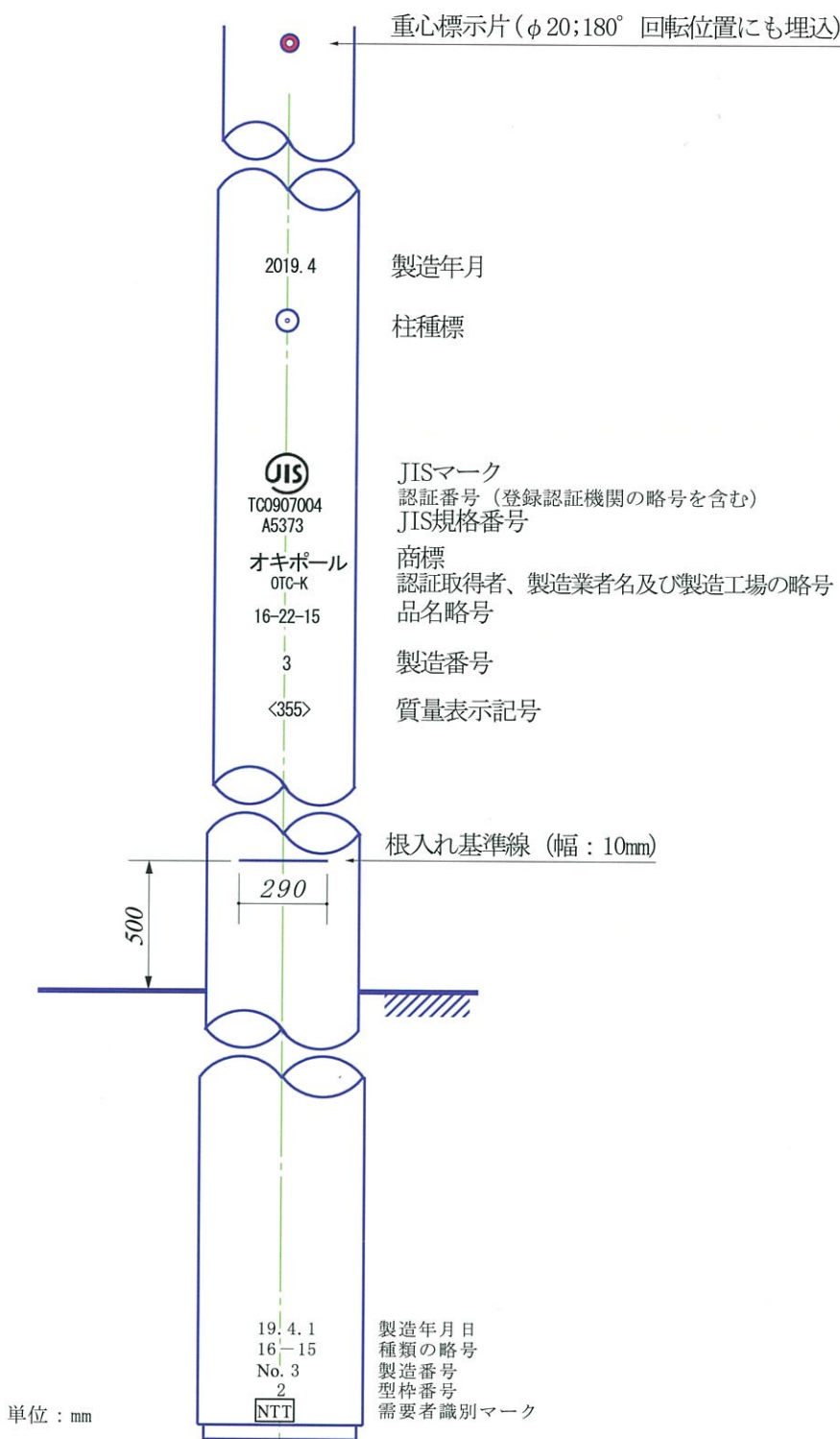


底ぶた表示



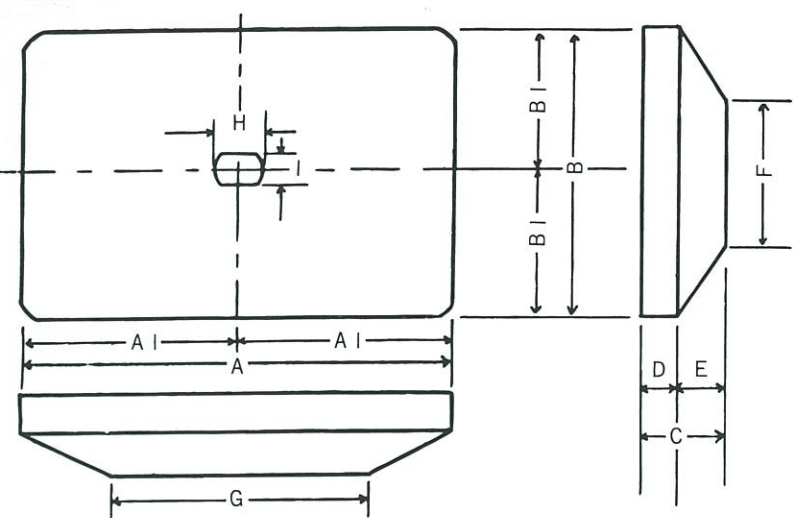
種類の略号
13-19-5.0
13:長さ(m) 19:末口径(cm) 5.0:ひび割れ試験荷重(kN)
銘板(電力)
2019 オキポール 13-5.0
銘板(一般)
2019 オキポール 13-5.0

オキポールの表示例（NTT社仕様）



品 名 略 号
1 6 - 2 2 - 1 5
1 6 : 長 さ (m) 2 2 : 末 口 径 (c m) 1 5 : ひ び 割 れ 試 験 荷 重 (k N)
柱 種 標 (N T T)
質 量 表 示 記 号
質量表示記号は、製造の上 で予想される最大の重さを 示しております。 < 3 5 5 > = 3 , 5 5 0 k g

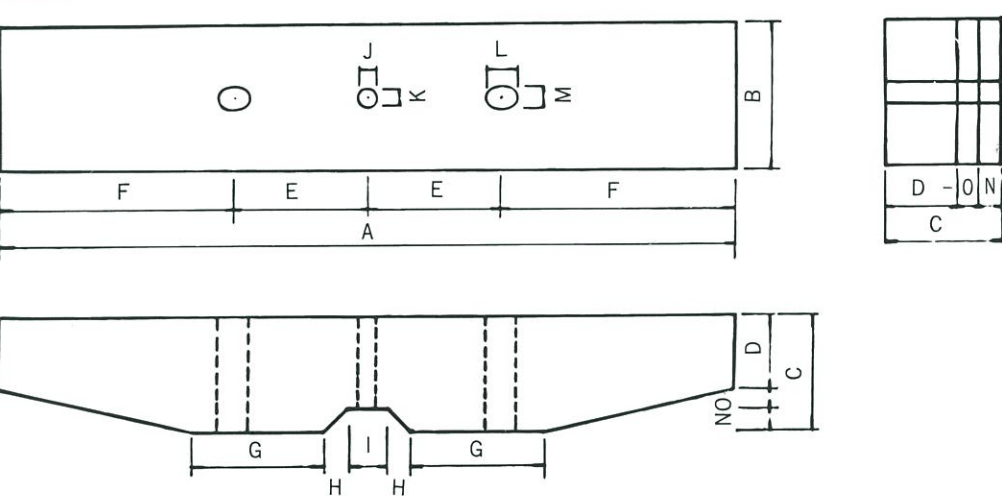
支線ブロック寸法図



寸法表 単位: mm

	1号	2号	3号	4号
A	450	550	900	1000
A1	225	275	450	500
B	300	400	500	600
B1	150	200	250	300
C	90	100	150	200
D	40	50	70	100
E	50	50	80	100
F	150	250	300	350
G	250	350	500	700
H	45	45	70	70
I	30	30	40	40
質量	21kg	42	125	240

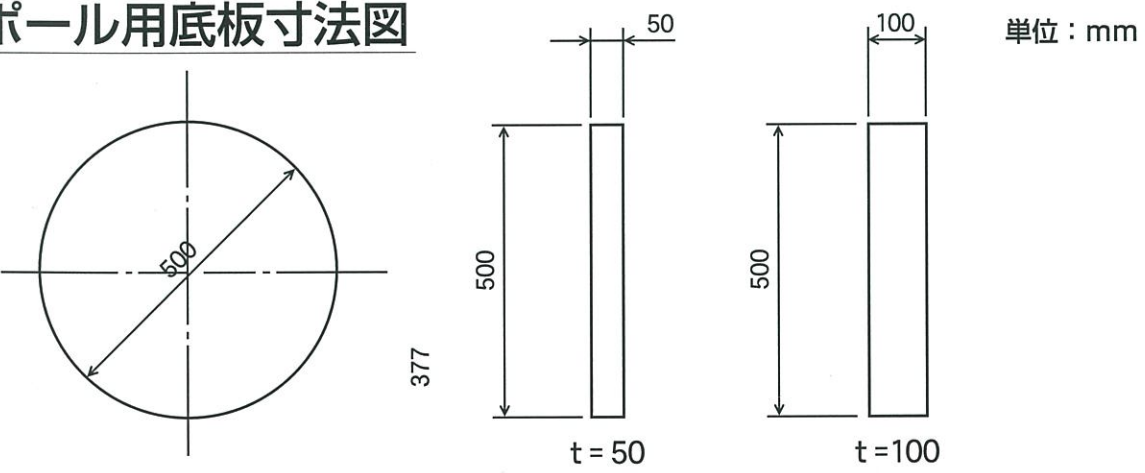
コンクリート根柢寸法図



寸法表 単位: mm

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	質量
1号	1000	200	160	100	180	320	180	35	50	38±5	38±5	45±5	30±5	30	30	70kg
2号	1200	300	170	80	200	400	180	35	50	38±5	38±5	45±5	30±5	30	60	120

ポール用底板寸法図



沖縄ハイポールの特徴

(ボルト式継柱)

沖縄ハイポール（ボルト式継柱）は、弊社がコンクリートポールの専門メーカーとして豊富な経験と実績から、送配電線路用のほか野球場、ゴルフ練習場、テニスコート等各種運動施設の照明用、防球ネット用として開発した耐久性と経済性に優れた長尺高荷重のコンクリートポールです。

○特徴

圧縮強度が高い

特殊配合と常温常圧蒸気養生によりコンクリートの圧縮強度が高い。

納期の短縮

特殊配合と常温常圧蒸気養生により材齢7日で所要の強度が得られるので受注後短期間で納入可能。

耐久性が大きい

継手のボルトとポールの鉄筋に偏心がないので外力による力の伝達が上柱鉄筋 ボルト 下柱鉄筋とスムーズに行われ不測の二次応力がなく、繰返し荷重に対して耐久性が大きい。

工作物申請が可能

平成19年6月20日付 改正建築基準法施行に基き、所定のコンクリートかぶり厚さを確保し、工作物申請が可能。

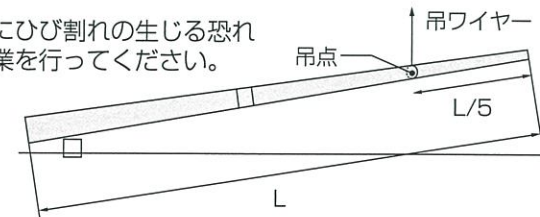
価格低廉・メンテナンスフリー

鋼管、鉄骨に比べ価格が低廉であるほか保守管理についても極めて経済的。

※本製品は九州高圧コンクリート工業株式会社の技術指導により製造されたものです。

長尺・継ポールの取り扱い注意事項

※ 長尺・継ポールを末口部で吊り込む際にはポールにひび割れの生じる恐れがありますので右図を参考に吊り上げ建て込み作業を行ってください。



※ 吊り込み時に、足場ボルトを滑り止め用として使用することは、ポールのひび割れ破損、落下等の重大事故の原因となりますので避けて下さい。

※ ポールの建て込み時における建柱車等、重機での直接加圧はひび割れ、折損等が生じる恐れがありますので避けてください。

※ クレーン容量は製品質量の3倍以上のものがが必要です。荷卸し位置がクレーンより離れている場合にはさらに大きな容量のクレーンが必要となります。

沖縄ハイポール標準寸法表（ボルト式継柱）

荷重 (kN)	呼び名	上 柱				下 柱					※2 根入長 (m)	地 際 設 計 曲げモーメント (kN・m)	足 場 受口数	※4 参考質量 (kg)
		長 さ (m)	末口径 (cm)	元口径 (cm)	重 量 (kg)	長 さ (m)	末口径 (cm)	地際径 (cm)	元口径 (cm)	重 量 (kg)				
10	18-19-10	13	19	36.3	1,500	5	36.3	39.0	43.0	890	3.0	147.50	34	2,390
	19-19-10	13	19	36.3	1,500	6	36.3	40.3	44.3	1,090	3.0	157.50	37	2,590
	20-19-10	13	19	36.3	1,500	7	36.3	41.7	45.7	1,300	3.0	167.50	39	2,800
	21-19-10	13	19	36.3	1,500	8	36.3	43.0	47.0	1,520	3.0	177.50	41	3,020
	22-19-10	13	19	36.3	1,500	9	36.3	44.3	48.3	1,740	3.0	187.50	43	3,240
	23-19-10	13	19	36.3	1,500	10	36.3	45.7	49.7	1,970	3.0	197.50	45	3,470
	24-19-10	13	19	36.3	1,500	11	36.3	47.0	51.0	2,200	3.0	207.50	48	3,700
	25-19-10	13	19	36.3	1,500	12	36.3	48.3	52.3	2,440	3.0	217.50	50	3,940
15	18-22-15	13	22	39.3	1,870	5	39.3	42.0	46.0	1,010	3.0	221.25	36	2,880
	19-22-15	13	22	39.3	1,870	6	39.3	43.3	47.3	1,230	3.0	236.25	39	3,100
	20-22-15	13	22	39.3	1,870	7	39.3	44.7	48.7	1,460	3.0	251.25	41	3,330
	21-22-15	13	22	39.3	1,870	8	39.3	46.0	50.0	1,700	3.0	266.25	43	3,570
	22-22-15	13	22	39.3	1,870	9	39.3	47.3	51.3	1,950	3.0	281.25	45	3,820
	23-22-15	13	22	39.3	1,870	10	39.3	48.7	52.7	2,200	3.0	296.25	47	4,070
	24-22-15	13	22	39.3	1,870	11	39.3	50.0	54.0	2,460	3.0	311.25	50	4,330
	25-22-15	13	22	39.3	1,870	12	39.3	51.3	55.3	2,730	3.0	326.25	52	4,600
	26-22-15	13	22	39.3	1,870	13	39.3	52.7	56.7	3,000	3.0	341.25	54	4,870
18	27-22-15	13	22	39.3	1,870	14	39.3	54.0	58.0	3,280	3.0	356.25	56	5,150
	18-26-18	10	26	39.3	1,610	8	39.3	46.0	50.0	1,800	3.0	265.50	37	3,410
	19-26-18	10	26	39.3	1,610	9	39.3	47.3	51.3	2,060	3.0	283.50	39	3,670
	20-26-18	10	26	39.3	1,610	10	39.3	48.7	52.7	2,330	3.0	301.50	41	3,940
	21-26-18	10	26	39.3	1,610	11	39.3	50.0	54.0	2,600	3.0	319.50	44	4,210
20	22-26-18	10	26	39.3	1,610	12	39.3	51.3	55.3	2,880	3.0	337.50	46	4,490
	18-26-20	10	26	39.3	1,620	8	39.3	46.0	50.0	1,820	3.0	295.00	37	3,440
	19-26-20	10	26	39.3	1,620	9	39.3	47.3	51.3	2,090	3.0	315.00	39	3,710
	20-26-20	10	26	39.3	1,620	10	39.3	48.7	52.7	2,360	3.0	335.00	41	3,980
	21-26-20	10	26	39.3	1,620	11	39.3	50.0	54.0	2,640	3.0	355.00	44	4,260
22	22-26-20	10	26	39.3	1,620	12	39.3	51.3	55.3	2,930	3.0	375.00	46	4,550

※1 荷重は、JIS A 5373 プレキャストプレストレストコンクリート製品 附属書Aによる。

※2 根入長は、標準を示しています。設計においては安全率2.0以上を確保して下さい。

※3 部品取付図（姿図）については弊社へお問い合わせ下さい。

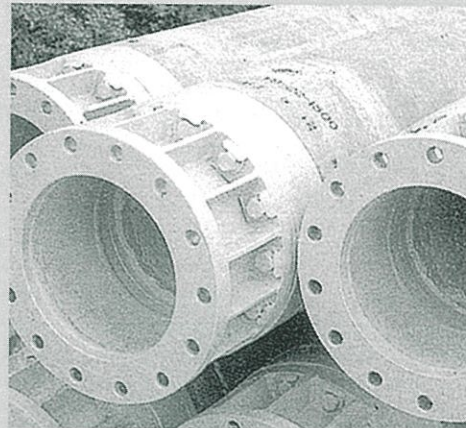
※4 本カタログに記載されている製品質量は、設計計算値です。実質量は20%～30%程度加算したものを見込んで下さい。

継柱状況

被覆法の採用による メンテナンスの長期化

コンクリートポールは、屋外に建柱使用されるため風雨等の厳しい自然環境にさらされています。このため継手部については、溶融亜鉛メッキや防錆塗装を施し、耐候製ボルトを使用していますが、維持管理の観点から定期的な点検をお願いします。

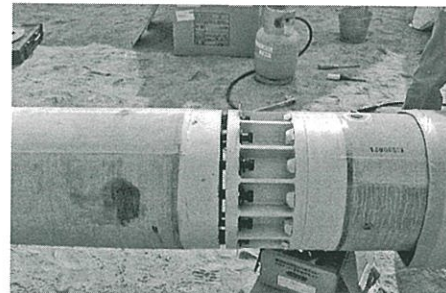
上部継手部



建込み継柱施工



上柱と下柱の継柱状況
(寝かせて行う場合)



上柱と下柱の継柱状況
(建柱して行う場合)



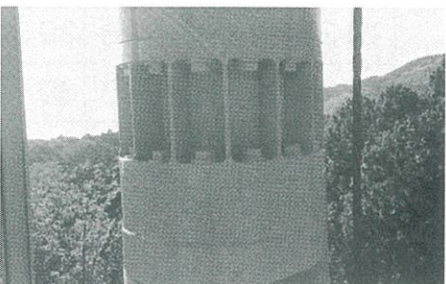
仮締め状況



本締め状況

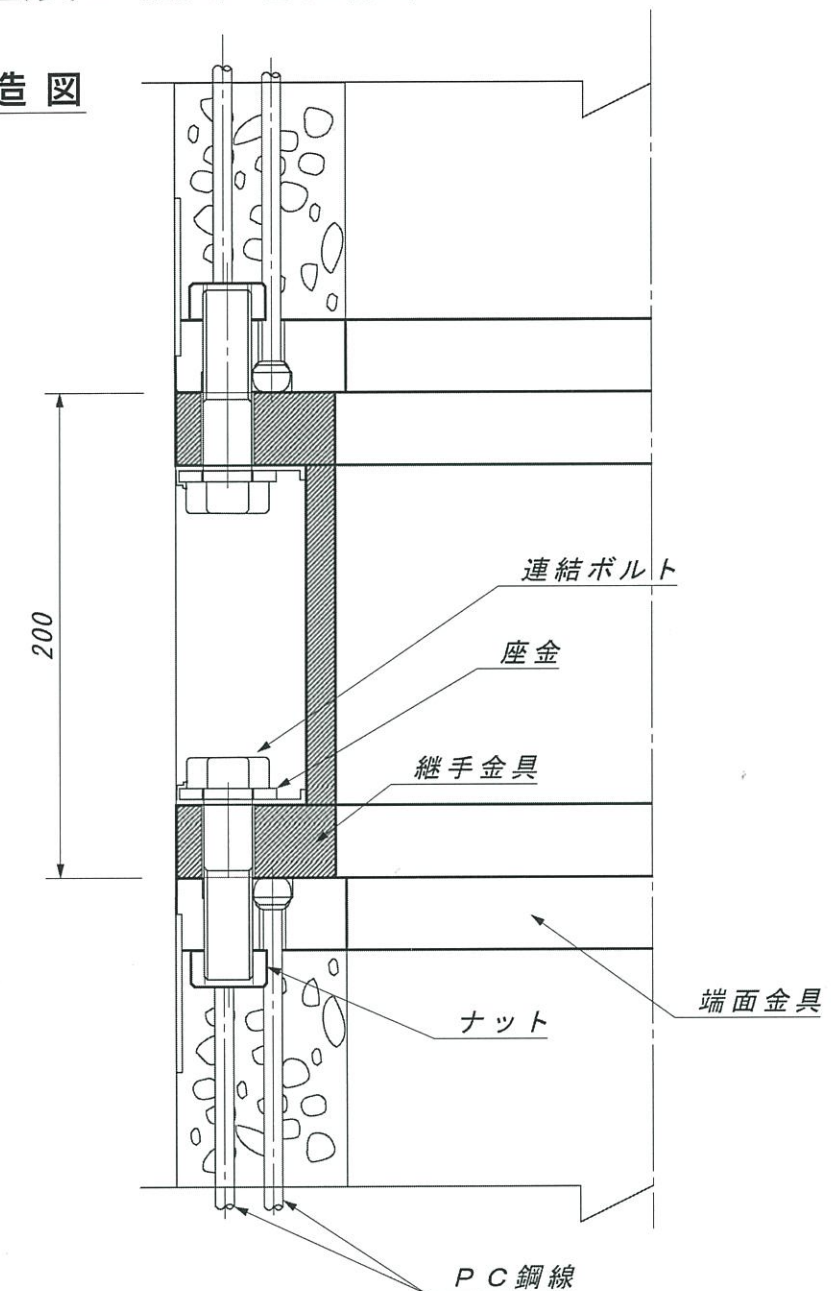


完 成



継手部構造及び標準寸法表

継 手 部 構 造 図



● 寸 法 表

ポール 荷 重(kN)	連結ボルト(a)	(mm) (mm) (mm) 座金 外径×内径×厚さ	座板 (mm) 板厚(t ₁)	継手金具 (mm) 板厚(t ₂)	締め付け用ソケット の呼び (mm)
10	M24×8本	44×25×6.0	24	30	32
15	M20×14本	40×21×4.5	30	30	27
18	M20×14本	40×21×4.5	30	30	27
20	M20×14本	40×21×4.5	30	30	27

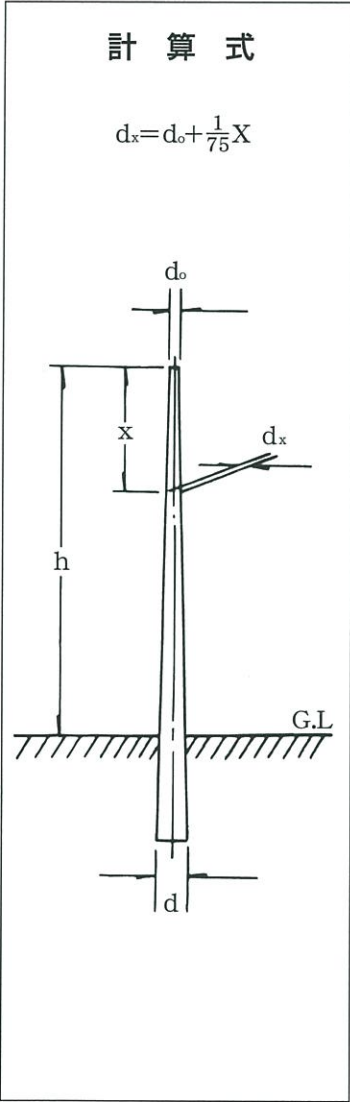
※連結ボルトは、JISB1180 六角ボルトに適合します。

※継ボルト首下と座金の接触面に滑材《モリブデングリース：呉工業(株)製》を塗布して下さい。

外径早見表

末口からの距離 (m)	増加数 (mm)	外 径 (mm)			末口からの距離 (m)	増加数 (mm)	外 径 (mm)		
		末 口					末 口		
		190	220	260			190	220	260
0.5	6.7	196.7	226.7	266.7	14.5	193.3	383.3	413.3	453.3
1.0	13.3	203.3	233.3	273.3	15.0	200.0	390.0	420.0	460.0
1.5	20.0	210.0	240.0	280.0	15.5	206.7	396.7	426.7	466.7
2.0	26.7	216.7	246.7	286.7	16.0	213.3	403.3	433.3	473.3
2.5	33.3	233.3	253.3	293.3	16.5	220.0	410.0	440.0	480.0
3.0	40.0	230.0	260.0	300.0	17.0	226.0	416.7	446.7	486.7
3.5	46.7	236.7	266.7	306.7	17.5	233.3	423.3	453.3	493.3
4.0	53.3	243.3	273.3	313.3	18.0	240.0	430.0	460.0	500.0
4.5	60.0	250.0	280.0	320.0	18.5	246.7	436.7	466.7	506.7
5.0	66.7	256.7	286.7	326.7	19.0	253.3	443.3	463.3	513.3
5.5	73.3	263.3	293.3	333.3	19.5	260.0	450.0	480.0	520.0
6.0	80.0	270.0	300.0	340.0	20.0	266.7	456.7	486.7	526.7
6.5	86.7	276.7	306.7	346.7	20.5	273.3	463.3	493.3	533.3
7.0	93.3	283.3	313.3	353.3	21.0	280.0	470.0	500.0	540.0
7.5	100.0	290.0	320.0	360.0	21.5	286.5	476.7	506.7	546.7
8.0	106.7	296.7	326.7	366.7	22.0	293.3	483.3	513.3	553.3
8.5	113.3	303.3	333.3	373.3	22.5	300.0	490.0	520.0	—
9.0	120.0	310.0	340.0	380.0	23.0	306.7	496.7	526.7	—
9.5	126.7	316.7	346.7	386.7	23.5	313.3	503.3	553.3	—
10.0	133.3	323.3	353.3	393.3	24.0	320.0	510.0	540.0	—
10.5	140.0	330.0	360.0	400.0	24.5	326.7	516.7	546.7	—
11.0	146.7	336.7	366.7	406.7	25.0	333.3	523.3	553.3	—
11.5	153.3	343.3	373.3	413.3	25.5	340.0	—	560.0	—
12.0	160.0	350.0	380.0	420.0	26.0	346.7	—	566.7	—
12.5	166.7	356.7	386.7	426.7	26.5	353.3	—	573.3	—
13.0	173.3	363.3	393.3	433.3	27.0	360.0	—	580.0	—
13.5	180.0	370.0	400.0	440.0					
14.0	186.7	376.7	406.7	446.7					

注1.テーパー：1/75
注2.外径(mm)の数値は、通常
少数点1位以下を4捨5入し
た整数を用いる。



施 工 上 の 注 意 事 点

■重心位置表示について

ボールの重心位置表示は、設計上の重心位置を示していますので、ボールにワイヤを取付ける際は、重心位置表示より若干末口側(上部)に取り付けて下さい。

■製品質量について

本カタログに記載されたボール質量は、設計質量である為、実質量は、これに2割程度加算したものを見込んで下さい。

■足場ボルト取り付け

足場ボルト受口に足場ボルトを装着する際は、ねじ部に異物が混入していないかどうか良く確認してから御使用下さい。無理に締付けを行うと、破損する恐れがあります。(P15参照)

日本工業規格
プレキャストプレストレストコンクリート製品
附属書 A (規定)ポール類及び
推奨仕様 A-1 プレストレストコンクリートポール(抜粋)

JIS
A 5373：2016

1. 適用範囲 この推奨仕様は、JIS A 5373の附属書Aのうち、ポール類Ⅰ類のプレストレストコンクリートポール（以下、ポールという）について記載する。
2. 種類 ポール類Ⅰ類の種類は1種及び2種とする。
- なお、1種は主として送電、配電、通信及び信号に用い、2種は、主として鉄道、及び軌道（無軌条電車を含む。）における電線路に用いる。
- a) 1種は、寸法及びひび割れ試験荷重によって、推奨仕様A-1表1のように区分する。

推奨仕様A-1表1 寸法及びひび割れ試験荷重（1種）

長さ m	荷重点 の高さ m	支 持 点 の高さ m	ひび割れ試験荷重 kN			
			末口径 cm			
			12	14	19	22
7	5.55	1.2	—	1.5	—	—
8	6.35	1.4	—	1.5 2.0	4.3	—
9	7.25	1.5	2.0	2.5	3.5 4.3 5.0	—
10	8.05	1.7	2.0	2.5	3.5 5.0	—
11	8.85	1.9	2.0	—	3.5 5.0	—
12	9.75	2.0	—	—	3.5 5.0 7.0	—
13	10.55	2.2	—	—	3.5 5.0 7.0	—
14	11.35	2.4	—	—	3.5 5.0 7.0	—
15	12.25	2.5	—	—	5.0 7.0	—
	11.95	2.8	—	—	10	10
	11.75	3.0	—	—	—	15
16	13.25	2.5	—	—	5.0 7.0	—
	12.95	2.8	—	—	10	10
	12.75	3.0	—	—	—	15
17	13.95	2.8	—	—	5.0 7.0 10	10
	13.75	3.0	—	—	—	15

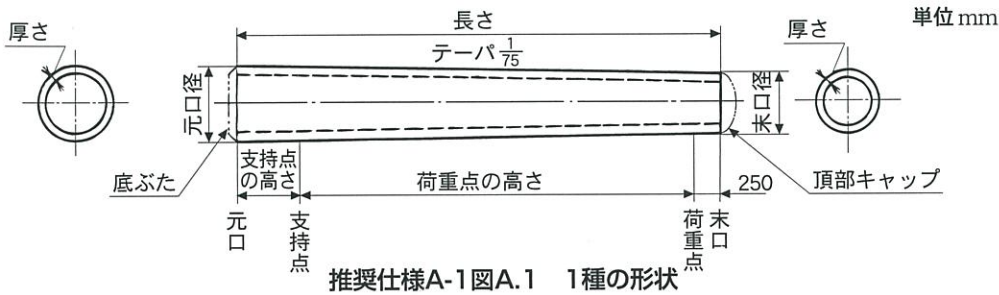
3. 性能

3.1 圧縮強度 コンクリートは、5.1に規定する圧縮強度試験を行い、圧縮強度は、50N／mm²以上でなければならない。

3.2 曲げ耐力

3.2.1 ひび割れ強度及びたわみ ポールのひび割れ強度及びたわみは、5.2.1に規定するひび割れ強度試験及びたわみ測定を行い、推奨仕様A-1表1に示すひび割れ試験荷重又は推奨仕様A-1表2に示す限界ひび割れ幅耐力に相当する荷重を加えたとき、幅0.25mmを超えるひび割れが発生してはならない。また、荷重を取り去ったとき、幅0.05mmを超えるひび割れが残ってはならない。

3.2.2 終局曲げ耐力 ポールの終局荷重は、5.2.2に規定する終局曲げ耐力試験を行い、推奨仕様A-1表1に示すひび割れ試験荷重の2倍以上又は推奨仕様A-1表2に示す限界ひび割れ幅耐力の2倍以上でなければならない。



4. 形状、寸法及び寸法の許容差

4.1 形状 ポールの形状は、次による。

a) 1種の形状は、推奨仕様 A.4 図 A.1 に示すようなテーパをもつ中空せつ(載)頭円すい体とする。

4.2 寸法及び寸法の許容差 I 類に区分される製品の寸法及び寸法の許容差は、附属書 A 表 A.4 による。ただし、キヤップと底ぶたは、長さに入しない。II 類に区分される製品の寸法及び寸法の許容差は、受渡当事者間の協議による。

表A.4 寸法及び寸法の許容差

種 類		長 さ	厚 さ	末 口 径	元 口 径	直 径
プレストレスト コンクリート ポ ー ル	寸 法	7～17m	設計図書による。	120～220mm	230～450mm	300～400mm
	許容差	+50mm -10mm	+規定なし -0mm	+4mm -2mm		

備考1. 末口径、元口径及び直径は、端部の一断面において直交軸に沿って測定した二つの値の平均値を四捨五入し整数に丸める。

2. 厚さは、本体の端部の一断面において直交軸に沿って測定した四つの値の平均値を四捨五入し整数に丸める。

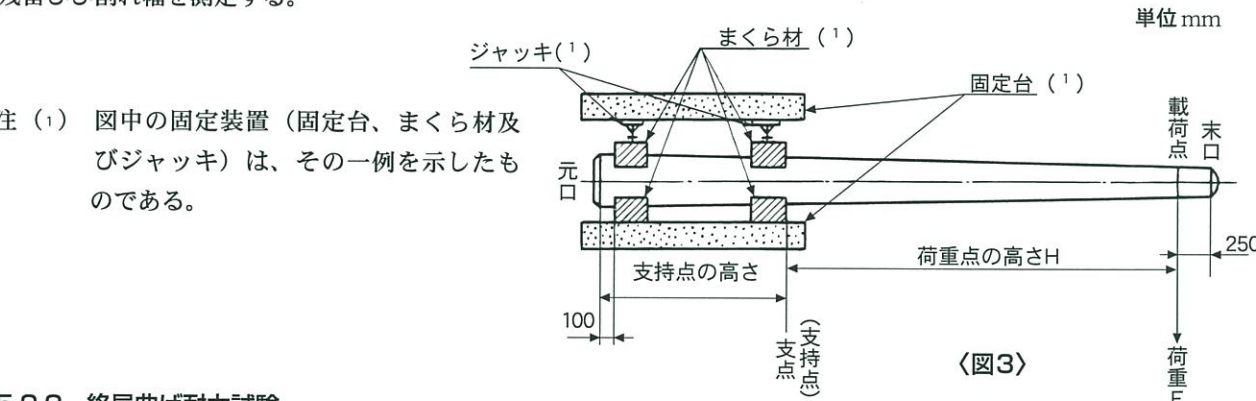
5. 試験方法

5.1 圧縮強度試験 圧縮強度試験は、JIS A 1132 及び JIS A 1108 (又は JIS A 1136) による。ただし、製品と同一の養生方法を行った供試体で検証するものとし、材齢は、出荷材齢とする。

5.2 曲げ耐力試験 曲げ耐力試験は、次によって行う。

備考 曲げ耐力試験は、JIS B 7721 に規定する1級以上の試験機又はこれと同等以上の性能をもつ試験機を用いて行う。

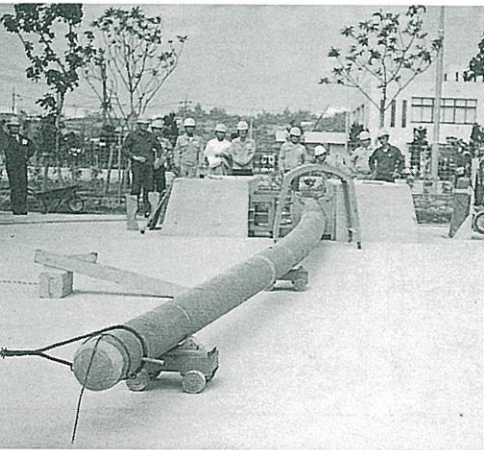
5.2.1 ひび割れ試験荷重までの試験 1種は、JIS A 5363 6.1 製品の曲げ耐力試験 図3に示すように部材を据え、まくら材などを当てて固定し、載荷点において、部材の軸になるべく直角になる方向に、緩やかな速さで、水平な荷重をひび割れ試験荷重まで加える。この間において、ひび割れ幅及びたわみを測定する。その後、荷重を除去し、残留ひび割れ幅を測定する。



5.2.2 終局曲げ耐力試験

a) 1種は、5.2.1 の試験が終わった後、さらに、同様な方法で荷重を加え、部材を破壊し、そのときに示した最大荷重を終局荷重又はその荷重から求めた曲げモーメントを破壊曲げモーメントとする。

$M = FH$ ここに F: 荷重 (kN)
M: 曲げモーメント (kN・m)
H: 支点から載荷点までの長さ (m)



足場ボルトの取扱いについて

足場ボルトの取付は下記の点について留意下さい。

- ① 足場ボルトはナット、スプリングワッシャーを取付けた状態で使用して下さい。
- ② 足場ボルトの取付は建柱後に行う事とし、建柱前には取付けないで下さい。
- ③ 足場ボルトの作業者が昇降に用いる以外、他の目的に使用しないで下さい。
- ④ 足場ボルトのネジ部に異物及びネジ山不良が無い事を確認して下さい。
異物が付着している時は、完全に取り除いて下さい。
また、足場ボルトのネジ山不良の場合は、足場ボルトを交換して下さい。
- ⑤ 足場ボルト受口のネジ部に異物が無い事を確認して下さい。
異物が入っている場合は、異物を完全に取り除いてネジ部をきれいにして下さい。
- ⑥ ネジ部 (足場ボルト側、足場ボルト受口側共) にグリス、潤滑剤などを付けないで下さい。

※一般的に異物とは、小砂利、砂、土等ですが、過度な締め付け時には足場ボルト受口ネジ部が割れ、その削りカスが足場ボルトのネジ山に付着したり、足場ボルト受口に溜まる事が有ります。

足場ボルトの取付順序

手順① 足場ボルトのネジ山最上部にナット、スプリングワッシャーが装着されているか確認して下さい。

手順② 足場ボルトを受口に合わせ、手回しで2～3山以上勘合させて下さい。

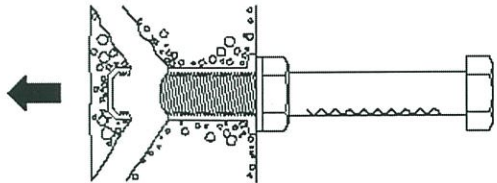
手順③ 手締めにより足場ボルトが完全に入るまで締め付けて下さい。

※手締めにより、足場ボルトが完全に入らない場合、受口内に異物が入っているか、ボルトのネジ山の不良が考えられます。受口を清掃すると共に足場ボルトを取り替えて下さい。

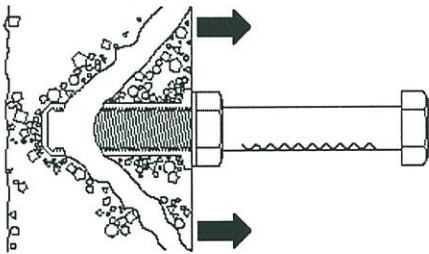
手順④ 次にスプリングワッシャーが受口に密着する程度にスパナ等で締め付けてください。

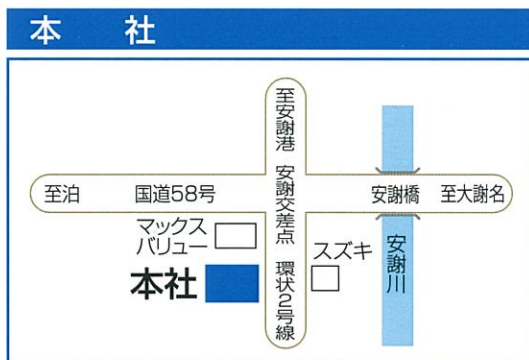
※足場ボルトの過度な締め付けやネジ部・受け口に異物があつたり、足場ボルトのネジ山に不良がある場合、受口のネジ山が壊れたり、下図のようにポール全体に欠損、剥離を生じる恐れが有ります。

底 抜 け

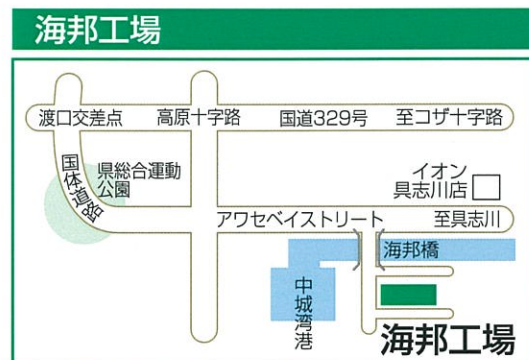


剥 離





〒900-0003 沖縄県那覇市字安謝620番地
 TEL. (098) 868-2522
 FAX. (098) 863-1925
<http://www.otc-kk.com>



〒904-2162 沖縄県沖縄市海邦町3番地1
 TEL. (098) 934-5512
 FAX. (098) 934-6647